

令和2年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(令和3年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

令和5年3月
福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
（1）令和2年度一般廃棄物処理事業の概要	2
（2）福島県廃棄物処理計画	5
2 福島県のごみ処理の状況	6
（1）ごみの排出量について	7
（2）ごみの分別数の状況について	11
（3）ごみの処理状況について	12
（4）リサイクル率・資源化率について	14
（5）最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
（1）水洗化の状況について	18
（2）し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
（3）浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 令和2年度廃棄物処理事業経費	24
2 令和2年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 令和2年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 令和2年度ごみ処理の概要	34
5 令和2年度ごみ搬入量の内訳	38
6 令和2年度ごみ処理量の内訳	45
7 令和2年度資源化量の内訳	48
8 令和2年度ごみ処理手数料の状況（生活系）	52
9 令和2年度ごみ処理手数料の状況（事業系）	60
10 令和2年度ごみの収集運搬体制の状況（生活系）	68
11 令和2年度ごみの収集運搬体制の状況（事業系）	78
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	88
13 市町村における生ごみ処理機（コンポスト容器も含む）普及促進策	89
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	92
15 令和2年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧（国費による助成事業）	93
16 令和2年度水洗化人口等の状況	94
17 令和2年度し尿処理の状況	96
第3編 資料編	99
1 一般廃棄物処理施設の状況	100
2 市町村廃棄物関係担当課一覧	114
3 一部事務組合一覧	116

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 令和2年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

令和2年10月1日現在の福島県の人口は1,884,061人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,783.90km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、令和3年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

令和2年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約393億円で、前年度(約334億円)と比較すると約17.6%増加しています。

表-1 令和2年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 28,924,250			し尿処理経費 10,394,888		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
39,319,138 (33,429,731)	6,650,741 (2,795,666)	20,934,085 (21,642,254)	1,339,424 (1,539,737)	6,824,591 (3,808,446)	3,338,326 (3,369,067)	231,971 (274,561)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数值は令和元年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

令和2年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は639、その従業員数は6,336人となっており、前年度と比較すると、業者数及び従業員数は増加しています。

表-2 一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者数				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
639 (619)	510 (489)	104 (103)	25 (27)	6,336 (6,161)	5,159 (5,010)	1,199 (1,190)	15 (15)

(注)()内は令和元年度実績

従業員数は、業務の兼務により、内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

令和2年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は109施設で、ごみ処理施設が62施設、し尿処理施設が25施設、一般廃棄物最終処分場が22施設となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金(平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金)が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況

(令和2年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	22	3,060 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	494 (t/日)
	資源化施設	26	303 (t/日)
	小計	62	
し尿処理施設	し尿処理施設	23	2,633 (kl/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口 5,540 人
	小計	25	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 655 千m ³
			残余年数 8.3 年
合計		109	

(注)残余年数は、残余容量を令和2年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ ごみ処理有料化の状況

可燃ごみについて、生活系ごみは市町村の 44%、事業系ごみは市町村の 93% で有料化が図られています。

不燃ごみについて、生活系ごみは市町村の 44%、事業系ごみは市町村の 85% で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村(委託を含む)で有料化されています。(表-4、表-5 参照)

表－4 ごみ処理有料化の状況(単位:市町村数)

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		26 (44%)	55 (93%)
不燃ごみ		26 (44%)	50 (85%)
資源ごみ	紙 (紙パック、紙製容器包装を除く)	0 (0%)	19 (32%)
	紙パック	0 (0%)	19 (32%)
	紙製容器包装	4 (7%)	18 (31%)
	金属	13 (22%)	23 (39%)
	ガラス	13 (22%)	23 (39%)
	ペットボトル	13 (22%)	23 (39%)
	白色トレイ	14 (24%)	24 (41%)
	容器包装プラスチック	14 (24%)	24 (41%)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	2 (3%)	3 (5%)
	布類	0 (0%)	1 (2%)
	生ごみ	0 (0%)	1 (2%)
	その他	0 (0%)	2 (3%)
その他収集ごみ		2 (3%)	8 (14%)
粗大ごみ		24 (41%)	35 (59%)

(注)割合の分母は令和2年度末現在の市町村数で59です。

資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には廃食油、小型家電等です。
「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表－5 し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有料		無料
	従量・回数制 (割合%)	定額制 (割合%)	
し尿	36 (61%)	4 (7%)	0
浄化槽汚泥	37 (63%)	2 (3%)	0

(注)割合の分母は令和2年度末現在の市町村数で59です。(他の市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

現在の「福島県廃棄物処理計画」は、持続可能な開発のための2030アジェンダの採択、新型感染症対策に伴う生活様式等の変化、プラスチック資源循環促進法の公布といった状況の変化を踏まえ、令和4年1月に循環型社会の形成～持続可能な社会の実現のためにという基本的目標の下、策定したものです。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみの発生抑制や最終処分量の削減を推進するための施策を引き続き実施していくとともに、リサイクル率向上のための施策の充実を図ることが必要です。
- ②既存施設の長寿命化や延命化、地球温暖化対策に配慮した施設への転換や災害への対応を考慮した施設整備が必要です。
- ③大規模な災害発生時の廃棄物処理対策が円滑に進むよう、災害廃棄物処理計画の策定や見直しを検討するとともに、ごみの不適正処理防止の普及啓発や不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- | |
|---|
| ①3R（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再使用、
リサイクル：再生利用）の推進 |
| ②ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進 |
| ③ごみの適正処理の推進及び災害廃棄物対策の推進 |

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（令和8年度における目標値）

県民に分かりやすい指標として次のように目標値を設定しました。

- | | |
|-----------------|------------|
| ①1人1日当たりのごみの排出量 | 923g／人・日以下 |
| ②リサイクル率 | 16.0%以上 |
| ③1日当たりの最終処分量 | 150t／日以下 |

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進

- 意識啓発の推進
- ごみの発生抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）の推進
- 再生利用（リサイクル）の促進
- 各種リサイクル法に基づく再生利用の推進
- 経済的手法の検討

② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進

- ごみ処理施設の長寿命化と延命化
- 二酸化炭素を極力排出しない施設やエネルギー効率が
高い施設の設置の促進

③ ごみの適正処理の推進及び災害廃棄物対策の推進

- 災害廃棄物の適正かつ円滑な処理の促進
- 不適正処理防止のための環境づくり

2 福島県のごみ処理の状況

○ 福島県のごみ処理の状況（令和2年度）

1 ごみの排出量

(1) 排出量

710,449 (t / 年) 【前年度720,595 t / 年】

前年度と比較し10,146 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値923 g / 人・日以下】

1,033 (g / 人・日) 【前年度1,035 g / 人・日】

前年度と比較し2g 減少しましたが、目標値と比較すると110g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値16.0%以上】

13.2 (%) 【前年度12.7%】

前年度と比較し0.5ポイント増加しましたが、目標値との比較では2.8ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

83,378 (t / 年) 【前年度90,211 t / 年】

前年度と比較し6,833 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値150 t / 日以下】

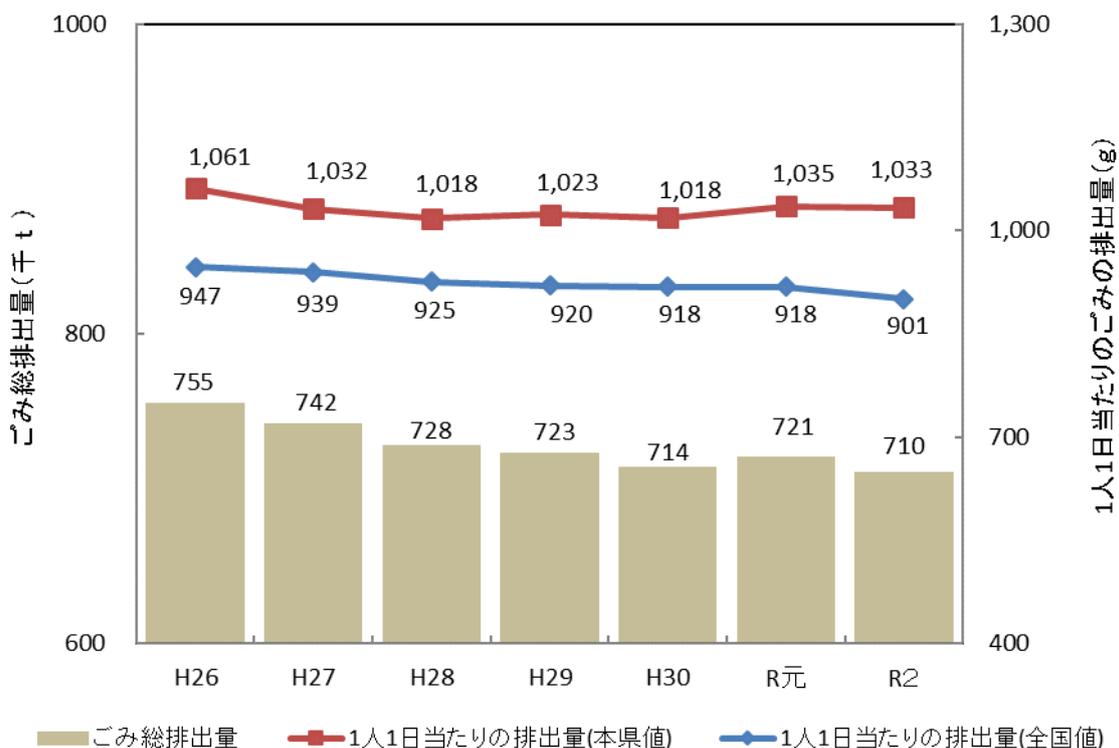
232 (t / 日) 【前年度255 t / 日】

前年度と比較し23t減少しましたが、目標値と比較すると82tオーバーしています。

(1) ごみの排出量について

令和2年度におけるごみの総排出量は710,449 tで、1人1日当たりに換算すると1,033 gとなります。これを全国平均の901 gと比較すると132 g多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが510,637 t、事業系ごみが199,812 tと、生活系ごみが約72%を占めています。



(注)平成26年度～30年度は、東日本大震災の除染廃棄物を除外しています。

図-1 ごみの排出量の推移

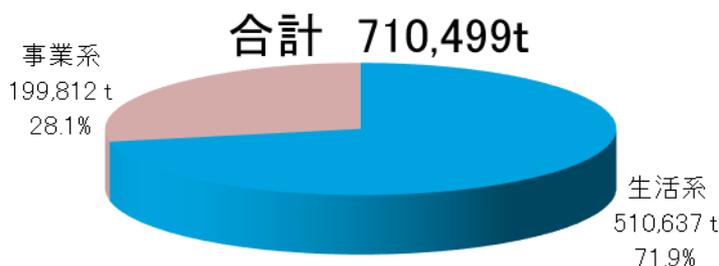


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

市町村別のごみ排出量の状況は表-6、令和元年度と比較して1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-7のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-8のとおりです。令和2年度は38市町村で前年度よりも排出量が増加しています。

表-6 市町村別のごみ排出量の状況

市町村名	計画処理 区域内 人口 (人)	ごみの総排出量 (t)			1人1日当たりの排出量 (g/人・日)			資源化量 (t)	リサイクル 率 (%)	有料化 実施 市町村
		生活系ごみ 排出量(集団 回収量含む) (g/人・日)	事業系ごみ 排出量 (t)	合計	生活系ごみ 排出量(集団 回収量含む) (g/人・日)	事業系ごみ 排出量 (g/人・日)	合計			
福島市	275,966	82,130	29,326	111,456	815	291	1,107	11,236	10.1	
伊達市	59,436	19,357	7,060	26,417	892	325	1,218	2,908	11.0	
桑折町	11,592	3,704	1,677	5,381	875	396	1,272	640	11.9	
国見町	8,847	2,560	1,129	3,689	793	350	1,142	439	11.9	
川俣町	12,718	4,145	1,996	6,141	893	430	1,323	344	5.6	
二本松市	53,798	13,823	3,267	17,090	704	166	870	3,026	17.7	
大玉村	8,743	2,231	407	2,638	699	128	827	494	18.7	
本宮市	30,150	8,161	2,003	10,164	742	182	924	1,921	18.9	
郡山市	321,735	92,188	47,604	139,792	785	405	1,190	14,204	10.1	
須賀川市	75,941	20,940	6,036	26,976	755	218	973	2,917	10.8	
鏡石町	12,668	3,488	510	3,998	754	110	865	447	11.2	
天栄村	5,533	1,497	390	1,887	741	193	934	188	10.0	
石川町	14,819	3,522	1,242	4,764	651	230	881	458	9.8	○
玉川村	6,582	1,430	374	1,804	595	156	751	198	11.0	○
平田村	5,938	1,674	528	2,202	772	244	1,016	195	17.2	○
浅川町	6,264	1,540	431	1,971	674	189	862	204	10.6	○
古殿町	5,056	1,088	385	1,473	590	209	798	146	10.1	○
田村市	35,110	8,494	3,233	11,727	663	252	915	1,902	16.2	○
三春町	16,861	4,809	1,262	6,071	781	205	986	1,356	22.1	○
小野町	9,824	2,170	830	3,000	605	231	837	462	15.4	○
白河市	60,237	15,485	6,865	22,350	704	312	1,017	1,970	8.9	○
西郷村	20,226	4,688	2,145	6,833	635	291	926	568	8.4	○
泉崎村	6,385	1,403	678	2,081	602	291	893	205	9.9	○
中島村	4,999	1,060	189	1,249	581	104	685	121	9.8	○
矢吹町	17,229	4,052	1,781	5,833	644	283	928	467	8.0	○
棚倉町	13,785	3,705	1,726	5,431	736	343	1,079	464	8.4	○
矢祭町	5,629	1,543	390	1,933	751	190	941	197	9.6	○
塙町	8,473	2,303	596	2,899	745	193	937	291	9.5	○
鮫川村	3,221	749	97	846	637	83	720	108	11.5	○
会津若松市	117,190	34,688	13,362	48,050	811	312	1,123	6,405	13.3	
磐梯町	3,409	988	620	1,608	794	498	1,292	377	23.4	
猪苗代町	13,741	4,206	1,673	5,879	839	334	1,172	1,000	17.0	
会津坂下町	15,490	3,493	1,211	4,704	618	214	832	472	10.0	○
湯川村	3,171	753	197	950	651	170	821	38	4.0	
柳津町	3,228	711	336	1,047	603	285	889	54	5.2	
三島町	1,537	392	86	478	699	153	852	18	3.8	
金山町	1,942	518	85	603	731	120	851	24	4.0	
昭和村	1,203	323	56	379	736	128	863	33	8.7	
会津美里町	19,878	5,567	1,275	6,842	767	176	943	859	12.6	
喜多方市	46,735	12,454	4,269	16,723	730	250	980	1,360	8.3	
北塩原村	2,678	526	568	1,094	538	581	1,119	77	7.0	
西会津町	6,046	1,437	281	1,718	651	127	779	173	10.1	
下郷町	5,478	1,580	572	2,152	790	286	1,076	311	14.5	
南会津町	15,016	4,400	1,513	5,913	803	276	1,079	809	13.7	
只見町	4,114	1,255	274	1,529	836	182	1,018	250	16.4	
檜枝岐村	521	208	2	210	1,094	11	1,104	66	31.4	
南相馬市	59,345	18,214	7,347	25,561	841	339	1,180	3,172	12.4	
飯館村	5,282	330		330	171		171	66	20.0	○
相馬市	34,400	11,594	2,559	14,153	923	204	1,127	1,468	10.4	
新地町	7,877	2,200	193	2,393	765	67	832	290	12.2	
広野町	4,698	1,048	1,236	2,284	611	721	1,332	83	3.6	○
檜葉町	6,778	1,001	1,136	2,137	405	459	864	91	4.3	○
富岡町	12,479	540	888	1,428	119	195	314	62	4.3	○
川内村	2,541	507	181	688	547	195	742	43	6.3	○
大熊町	10,317	42	371	413	11	99	110	19	4.6	○
双葉町	5,823		61	61		29	29			
浪江町	16,797	579	1,224	1,803	94	200	294	50	2.8	○
葛尾村	1,383	108	120	228	214	238	452	6	2.6	○
いわき市	337,199	87,036	33,959	120,995	707	276	983	28,189	23.3	
合計	1,884,061	510,637	199,812	710,449	743	291	1,033	93,941	13.2	26

(注) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、双葉町は市町村による生活ごみ等の処理が再開されておりませんが、統計上、合計に含めております。(令和3年4月1日現在)
 避難区域となった市町村については、住民の避難や復興事業の進捗等により、統計上の人口と実際の居住者数が大きく乖離している場合があるため、比較・評価等に適さない場合があります。例えば、広野町については、同町が把握している居住人口6,391人(復興事業等に従事する2,165人を含む)で仮に算出すると、1人1日当たりのごみの排出量は979gとなります。

表-7 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	R2年度	R元年度	順位	市町村名	対前年度比	R2年度	R元年度
1	北塩原村	-182	1,119	1,301	30	郡山市	14	1,190	1,177
2	三島町	-99	852	951	31	西郷村	15	926	911
3	昭和村	-75	863	938	32	南相馬市	16	1,180	1,164
4	伊達市	-74	1,218	1,292	33	飯舘村	17	171	154
5	只見町	-74	1,018	1,092	34	中島村	18	685	667
6	磐梯町	-71	1,292	1,363	35	三春町	18	986	968
7	猪苗代町	-58	1,172	1,230	36	矢祭町	20	941	921
8	金山町	-50	851	901	37	本宮市	24	924	900
9	浅川町	-46	862	908	38	国見町	24	1,142	1,119
10	南会津町	-40	1,079	1,118	39	白河市	25	1,017	992
11	檜枝岐村	-39	1,104	1,143	40	富岡町	26	314	288
12	会津美里町	-37	943	980	41	鏡石町	26	865	838
13	いわき市	-33	983	1,016	42	柳津町	29	889	860
14	小野町	-19	837	856	43	天栄村	35	934	899
15	桑折町	-18	1,272	1,290	44	泉崎村	36	893	857
16	会津若松市	-18	1,123	1,141	45	大熊町	37	110	73
17	福島市	-14	1,107	1,120	46	棚倉町	38	1,079	1,042
18	西会津町	-10	779	788	47	川内村	39	742	703
19	須賀川市	-7	973	980	48	大玉村	39	827	788
20	相馬市	-1	1,127	1,128	49	檜葉町	41	864	823
21	会津坂下町	1	832	831	50	田村市	45	915	870
22	玉川村	2	751	749	51	鮫川村	46	720	673
23	下郷町	4	1,076	1,073	52	古殿町	63	798	735
24	石川町	5	881	876	53	新地町	93	832	739
25	喜多方市	5	980	975	54	川俣町	95	1,323	1,227
26	塙町	10	937	927	55	浪江町	107	294	187
27	湯川村	11	821	810	56	広野町	154	1,332	1,178
28	矢吹町	13	928	914	57	葛尾村	159	452	293
29	二本松市	13	870	857	58	平田村	241	1,016	775

(注)対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和3年4月1日現在)

表-8 1人1日当たりのごみの排出量(単位:g/)

(1) 人口5万人以上 (9市)			(3) 人口5千人~1万人未満 (16町村)			(5) 全市町村 (58市町村)		
順位	市町村名	排出量	順位	市町村名	排出量	順位	市町村名	排出量
1	二本松市	870	1	飯館村	171	1	大熊町	110
2	須賀川市	973	2	玉川村	751	2	飯館村	171
3	いわき市	983	3	西会津町	779	3	浪江町	294
4	白河市	1,017	4	古殿町	798	4	富岡町	314
5	福島市	1,107	5	大玉村	827	5	葛尾村	452
6	会津若松市	1,123	6	新地町	832	6	中島村	685
7	南相馬市	1,180	7	小野町	837	7	鮫川村	720
8	郡山市	1,190	8	浅川町	862	8	川内村	742
9	伊達市	1,218	9	檜葉町	864	9	玉川村	751
	平均	1,085	10	泉崎村	893	10	西会津町	779
			11	天栄村	934	11	古殿町	798
			12	塙町	937	12	湯川村	821
			13	矢祭町	941	13	大玉村	827
			14	平田村	1,016	14	会津坂下町	832
			15	下郷町	1,076	15	新地町	832
			16	国見町	1,142	16	小野町	837
				平均	864	17	金山町	851
						18	三島町	852
						19	浅川町	862
						20	昭和村	863
						21	檜葉町	864
						22	鏡石町	865
						23	二本松市	870
						24	石川町	881
						25	柳津町	889
						26	泉崎村	893
						27	田村市	915
						28	本宮市	924
						29	西郷村	926
						30	矢吹町	928
						31	天栄村	934
						32	塙町	937
						33	矢祭町	941
						34	会津美里町	943
						35	須賀川市	973
						36	喜多方市	980
						37	いわき市	983
						38	三春町	986
						39	平田村	1,016
						40	白河市	1,017
						41	只見町	1,018
						42	下郷町	1,076
						43	南会津町	1,079
						44	棚倉町	1,079
						45	檜枝岐村	1,104
						46	福島市	1,107
						47	北塩原村	1,119
						48	会津若松市	1,123
						49	相馬市	1,127
						50	国見町	1,142
						51	猪苗代町	1,172
						52	南相馬市	1,180
						53	郡山市	1,190
						54	伊達市	1,218
						55	桑折町	1,272
						56	磐梯町	1,292
						57	川俣町	1,323
						58	広野町	1,332
							平均	1,033

(2) 人口1万人~5万人未満 (19市町村)			(4) 人口5千人未満 (14町村)		
順位	市町村名	排出量	順位	市町村名	排出量
1	大熊町	110	1	葛尾村	452
2	浪江町	294	2	中島村	685
3	富岡町	314	3	鮫川村	720
4	会津坂下町	832	4	川内村	742
5	鏡石町	865	5	湯川村	821
6	石川町	881	6	金山町	851
7	田村市	915	7	三島町	852
8	本宮市	924	8	昭和村	863
9	西郷村	926	9	柳津町	889
10	矢吹町	928	10	只見町	1,018
11	会津美里町	943	11	檜枝岐村	1,104
12	喜多方市	980	12	北塩原村	1,119
13	三春町	986	13	磐梯町	1,292
14	南会津町	1,079	14	広野町	1,332
15	棚倉町	1,079		平均	935
16	相馬市	1,127			
17	猪苗代町	1,172			
18	桑折町	1,272			
19	川俣町	1,323			
	平均	920			

【参考】

全国平均	901g/人・日	
1位	長野県川上村	332.2g/人・日
2位	長野県南牧村	333.2g/人・日
3位	徳島県神山町	368.9g/人・日

(注)太字は生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村。
 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、
 市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みませ
 ん。(令和3年4月1日現在)

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は 26 市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表－9 のとおり、有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1 人 1 日当たりのごみ排出量（平均）が 241g（22.4%）少なくなっています。

また、人口区分別にみても、同様の傾向となっています。（有料化実施市町村は、表－8 の太字部分及び第 2 編統計データ編「8 令和 2 年度ごみ処理手数料の状況（生活系）（P52～59）」を参照。）

表－9 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差(割合%)
排出量	835 (26)	1,077 (32)	-241 (-22.4%)
人口50,000人以上の市町村の排出量	1,017 (1)	1,088 (8)	-71 (-6.5%)
人口10,000～50,000人の市町村の排出量	776 (10)	1,046 (9)	-271 (-25.9%)
人口5,000～10,000人の市町村の排出量	821 (10)	933 (6)	-112 (-12.0%)
人口5,000人未満の市町村の排出量	861 (5)	992 (9)	-131 (-13.2%)

(注1) ()内は市町村数

(注2) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村うち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和3年4月1日現在)

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成 9 年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

令和 2 年度の状況は表－10 のとおりであり、分別数は 19 区分から 7 区分までとなっています。

表－10 ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	檜枝岐村	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、会津坂下町、三春町	7
16	国見町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市	4
15	田村市、小野町、天栄村、北塩原村、西会津町、新地町	6
14	伊達市、桑折町、須賀川市、鏡石町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、柳津町、三島町、只見町、いわき市	15
13	郡山市、白河市、磐梯町、湯川村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、川内村	9
12	福島市、広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、浪江町、葛尾村	7
11	相馬市、川俣町、昭和村	3
10	金山町	1
9	飯舘村	1
7	喜多方市	1

(注) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出すこととしている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。
 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。
 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和3年4月1日現在)

(3) ごみの処理状況について

令和2年度のごみ処理フローは図－3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は 693,560 t で、このうち、直接焼却処理された量は 594,574 t (85.7%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は 71,864 t (10.4%) となっています。

最終処分された量は 83,378 t で、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が 80,630 t (96.7%)、直接最終処分された量が 2,748 t (3.3%) となっています。

総資源化量は 93,941 t で、このうち、収集後に直接資源化された量が 24,374 t (25.9%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が 53,670 t (57.1%)、集団回収量が 15,897 t (16.9%) となっています。

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：t／年）

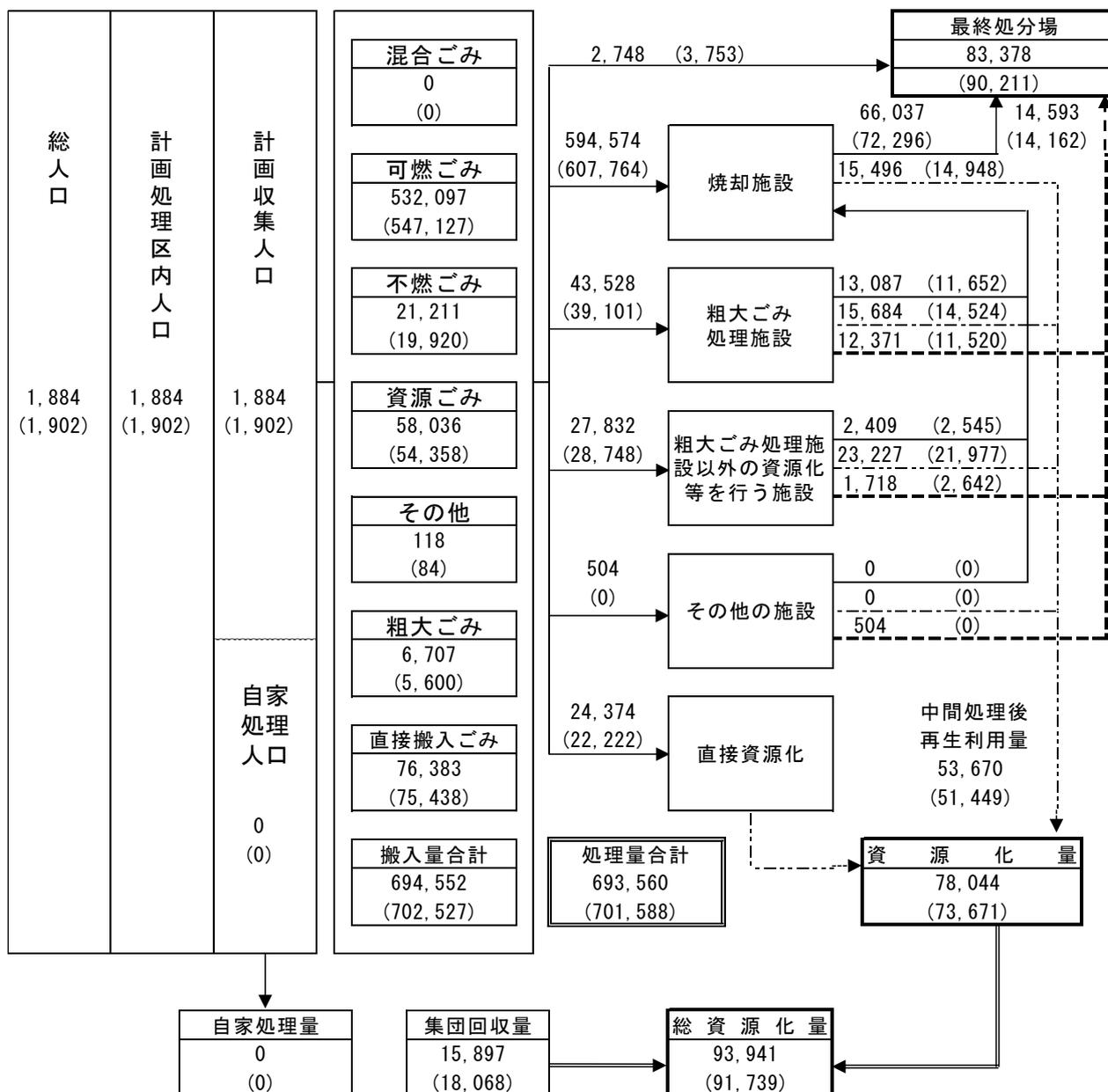


図-3 ごみ処理のフロー図

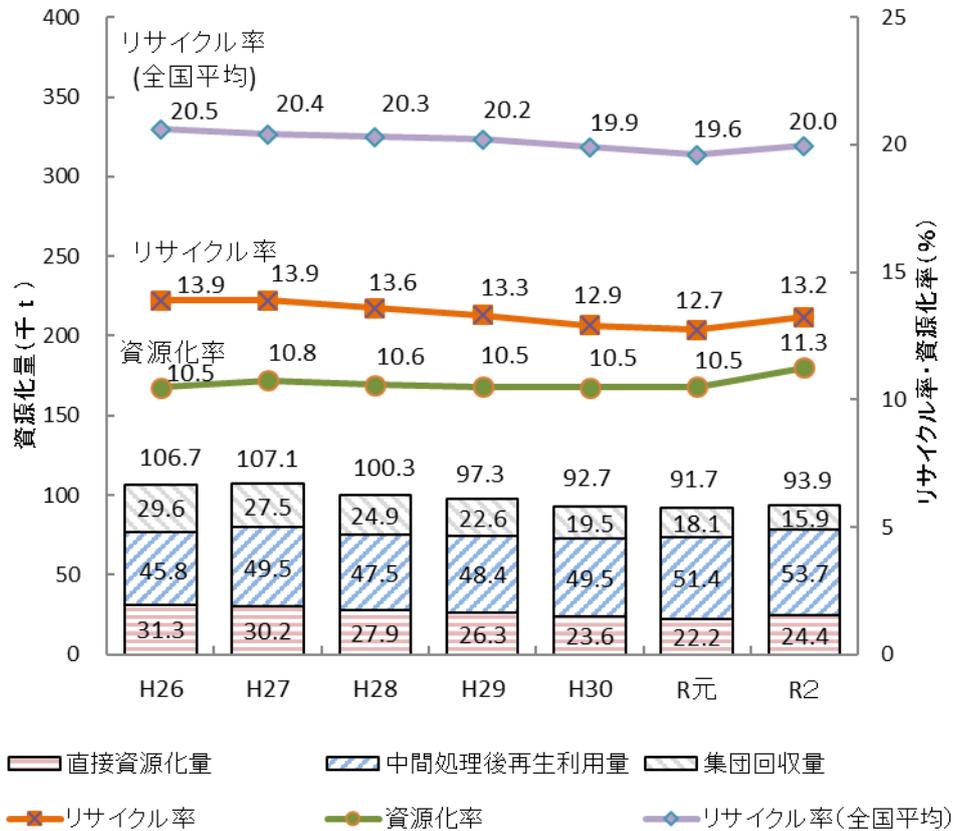
(注) () 内は令和元年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

- ※ごみ処理に関する基本的な用語
- ・直接資源化量：資源化等を行う施設を経ずに直接再生業者に搬入された量
 - ・中間処理後再生利用量：粗大ごみ施設等による中間処理後に再生利用された量
 - ・資源化量：（直接資源化量）＋（中間処理後の再生利用量）
 - ・集団回収量：市民団体等により収集されたもののうち、市町村が用具の貸出、補助金等の交付等により関与しているものの量
 - ・総資源化量：（直接資源化量）＋（中間処理後の再生利用量）＋（集団回収量）
 - ・リサイクル率 = $\frac{\text{総資源化量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$
 - ・資源化率 = $\frac{\text{資源化量}}{\text{ごみ処理量}} \times 100$

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率及び資源化率については、平成 27 年度以降減少傾向にありましたが、令和 2 年度は増加に転じております。



図ー4 総資源化量とリサイクル率の推移

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-11のとおりです。

表-11 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上
(9市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	いわき市	23.3
2	二本松市	17.7
3	会津若松市	13.3
4	南相馬市	12.4
5	伊達市	11.0
6	須賀川市	10.8
7	郡山市	10.1
8	福島市	10.1
9	白河市	8.9
	平均	13.7

(3) 人口5千人～1万人未満
(16町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	20.0
2	大玉村	18.7
3	平田村	17.2
4	小野町	15.4
5	下郷町	14.5
6	新地町	12.2
7	国見町	11.9
8	玉川村	11.0
9	浅川町	10.6
10	古殿町	10.1
11	西会津町	10.1
12	天栄村	10.0
13	泉崎村	9.9
14	矢祭町	9.6
15	塙町	9.5
16	檜葉町	4.3
	平均	11.8

(5) 全市町村
(58市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	31.4
2	磐梯町	23.4
3	いわき市	23.3
4	三春町	22.1
5	飯館村	20.0
6	本宮市	18.9
7	大玉村	18.7
8	二本松市	17.7
9	平田村	17.2
10	猪苗代町	17.0
11	只見町	16.4
12	田村市	16.2
13	小野町	15.4
14	下郷町	14.5
15	南会津町	13.7
16	会津若松市	13.3
17	会津美里町	12.6
18	南相馬市	12.4
19	新地町	12.2
20	桑折町	11.9
21	国見町	11.9
22	鮫川村	11.5
23	鏡石町	11.2
24	伊達市	11.0
25	玉川村	11.0
26	須賀川市	10.8
27	浅川町	10.6
28	相馬市	10.4
29	郡山市	10.1
30	古殿町	10.1
31	福島市	10.1
32	西会津町	10.1
33	会津坂下町	10.0
34	天栄村	10.0
35	泉崎村	9.9
36	石川町	9.8
37	中島村	9.8
38	矢祭町	9.6
39	塙町	9.5
40	白河市	8.9
41	昭和村	8.7
42	棚倉町	8.4
43	西郷村	8.4
44	喜多方市	8.3
45	矢吹町	8.0
46	北塩原村	7.0
47	川内村	6.3
48	川俣町	5.6
49	柳津町	5.2
50	大熊町	4.6
51	富岡町	4.3
52	檜葉町	4.3
53	湯川村	4.0
54	金山町	4.0
55	三島町	3.8
56	広野町	3.6
57	浪江町	2.8
58	葛尾村	2.6
	平均	13.2

(2) 人口1万人～5万人未満
(19市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	22.1
2	本宮市	18.9
3	猪苗代町	17.0
4	田村市	16.2
5	南会津町	13.7
6	会津美里町	12.6
7	桑折町	11.9
8	鏡石町	11.2
9	相馬市	10.4
10	会津坂下町	10.0
11	石川町	9.8
12	棚倉町	8.4
13	西郷村	8.4
14	喜多方市	8.3
15	矢吹町	8.0
16	川俣町	5.6
17	大熊町	4.6
18	富岡町	4.3
19	浪江町	2.8
	平均	11.8

(4) 人口5千人未満
(14町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	31.4
2	磐梯町	23.4
3	只見町	16.4
4	鮫川村	11.5
5	中島村	9.8
6	昭和村	8.7
7	北塩原村	7.0
8	川内村	6.3
9	柳津町	5.2
10	湯川村	4.0
11	金山町	4.0
12	三島町	3.8
13	広野町	3.6
14	葛尾村	2.6
	平均	9.8

【参考】

全国ベスト3 (令和2年度)

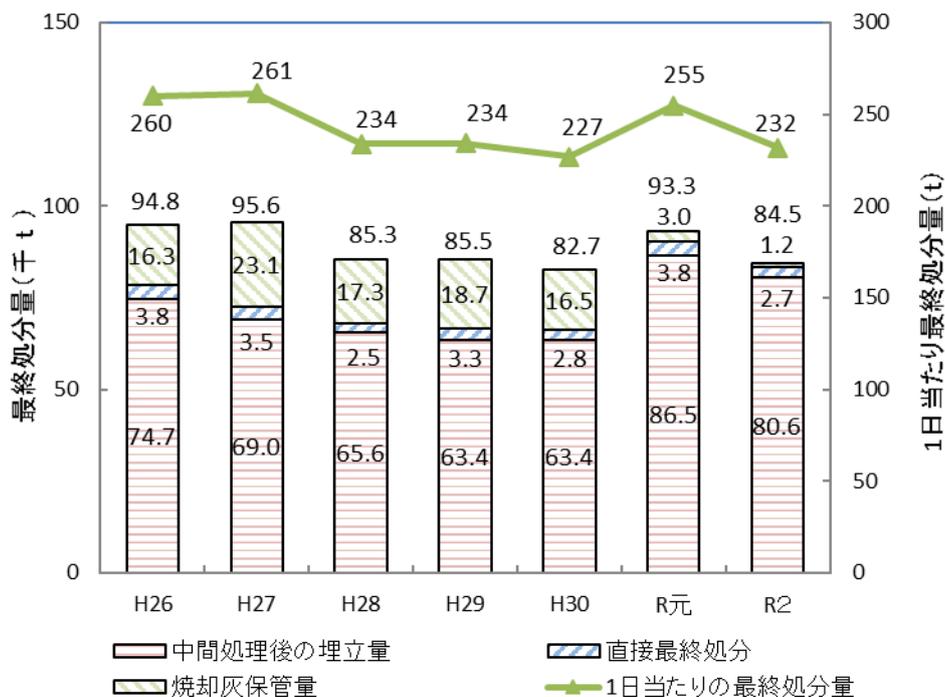
1位	鹿児島県大崎町	83.1%
2位	徳島県上勝町	81.0%
3位	北海道豊浦町	74.3%

(注)福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和3年4月1日現在)

(5) 最終処分場埋立量について

令和2年度の最終処分量は83.4千tであり、前年度の90.2千tと比較し6.8千t減少しています。（1日当たりでは23tの減少）

直接最終処分量は2.7千tであり、前年度の3.8千tと比較し1.1千t減少しています。



注) 1日当たりの最終処分量は、埋め立てされずに保管されていた焼却灰の量を含めて算出しています。

図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-12 ごみ処理の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
a 総人口(人)	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	
b 計画処理区域内人口(人)	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	
c 計画収集人口(人)	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	22,095,320	28,160,369	29,587,110	32,117,618	35,429,267	25,984,711	28,924,250	
f 建設改良費(千円)	1,525,429	7,279,283	8,025,200	10,957,045	14,189,044	2,795,665	6,650,741	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	18,931,252	19,689,454	20,304,798	19,891,800	19,825,585	21,649,299	20,934,085	
h その他(千円)	1,638,639	1,191,632	1,257,112	1,268,773	1,414,638	1,539,737	1,339,424	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	11,324	14,322	15,104	16,574	18,446	13,663	15,352	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	9,702	10,014	10,366	10,265	10,322	11,383	11,111	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	25,742	26,578	28,498	27,972	28,383	30,858	30,184	
l ごみ総排出量(t/年)	769,848	760,627	742,598	737,242	721,322	720,595	710,449	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,081	1,057	1,039	1,042	1,029	1,035	1,033	
n 計画収集量(t/年)	740,269	733,176	717,703	714,653	701,790	702,527	694,552	
o 収集ごみ量(t/年)	653,454	643,962	633,749	633,885	621,367	627,089	618,169	
p 直接搬入量(t/年)	86,815	89,214	83,954	80,768	80,423	75,438	76,383	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	528,396	520,984	507,380	502,461	490,374	487,196	494,740	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	211,873	212,192	210,323	212,192	211,416	215,331	199,812	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	735,432	740,831	712,509	711,139	698,503	701,588	693,560	
u 直接焼却量(t/年)	633,565	640,445	620,159	618,646	609,372	607,764	594,574	
v 直接埋立量(t/年)	3,817	3,502	2,503	3,281	2,811	3,753	2,748	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	66,759	66,704	61,991	62,881	62,702	67,849	71,864	
x 直接資源化量(t/年)	31,291	30,180	27,856	26,331	23,618	22,222	24,374	
y 資源化量(t/年)	77,101	79,658	75,358	74,760	73,129	73,671	78,044	
z 集団回収量(t/年)	29,579	27,451	24,895	22,589	19,532	18,068	15,897	
aa 資源化率(%)	10.5	10.8	10.6	10.5	10.5	10.5	11.3	
ab リサイクル率(%)	13.9	13.9	13.6	13.3	12.9	12.7	13.2	
ac 最終処分量(t)	78,487	72,538	68,077	66,724	66,257	90,211	83,378	
ad 焼却灰保管量(t)	16,345	23,059	17,271	18,736	16,478	3,044	1,158	
ae 1日当たりの最終処分量(t/日)	260	261	234	234	227	255	232	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	947	939	925	920	918	918	901
	資源化率(%)	15.8	15.8	15.9	16.0	15.9	15.8	16.7
	リサイクル率(%)	20.6	20.4	20.3	20.2	19.9	19.6	20.0

(注) $i = (e/b) \times 1,000$ $j = (g/b) \times 1,000$ $k = (g/t) \times 1,000$ $l = n + z$ $m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※閏年の年度は「365」を「366」として計算した。 $n = q + r$ $aa = (y/t) \times 100$ $ab = (y+z)/(t+z) \times 100$ $ae = (ac+ad)/365$ ※閏年の年度は「365」を「366」として計算した。

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

令和2年度の水洗化率は92.1%で、うち下水道による水洗化率は49.8%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は42.3%となっています。
 (P20 参照)

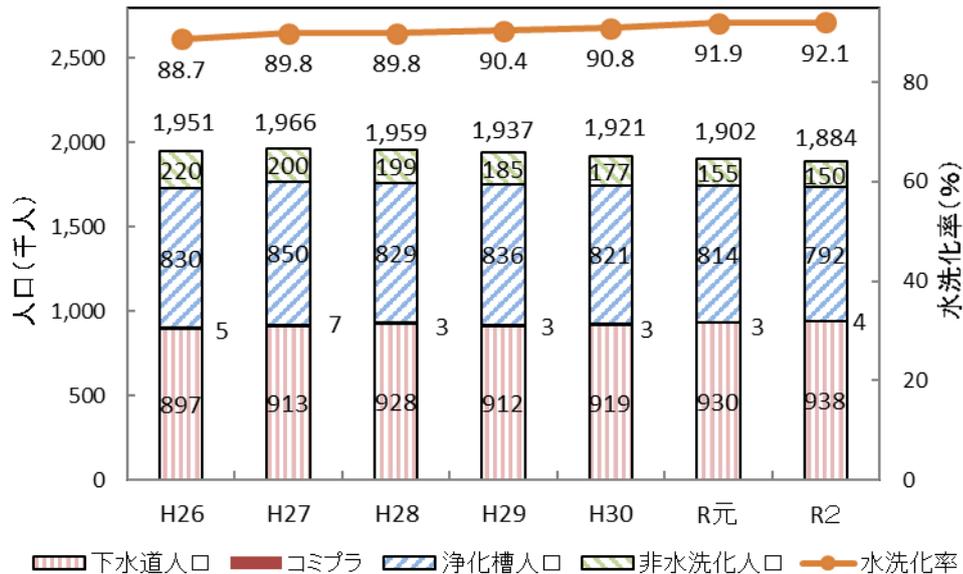


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

令和2年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は589,594kℓで、前年度の584,850kℓと比較すると4,744kℓ増加しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は587,297kℓ、下水道投入等は2,244kℓ、自家処理量は53kℓとなっています。

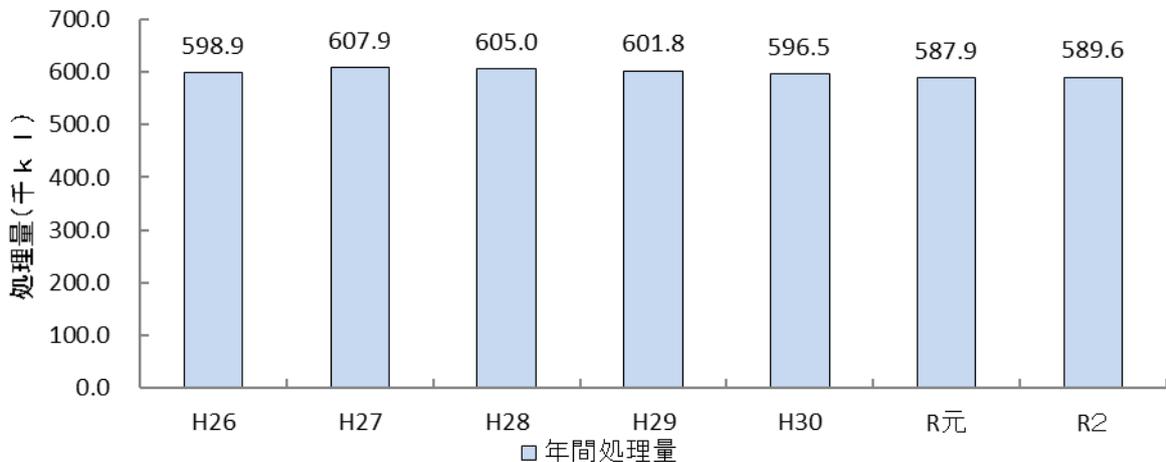
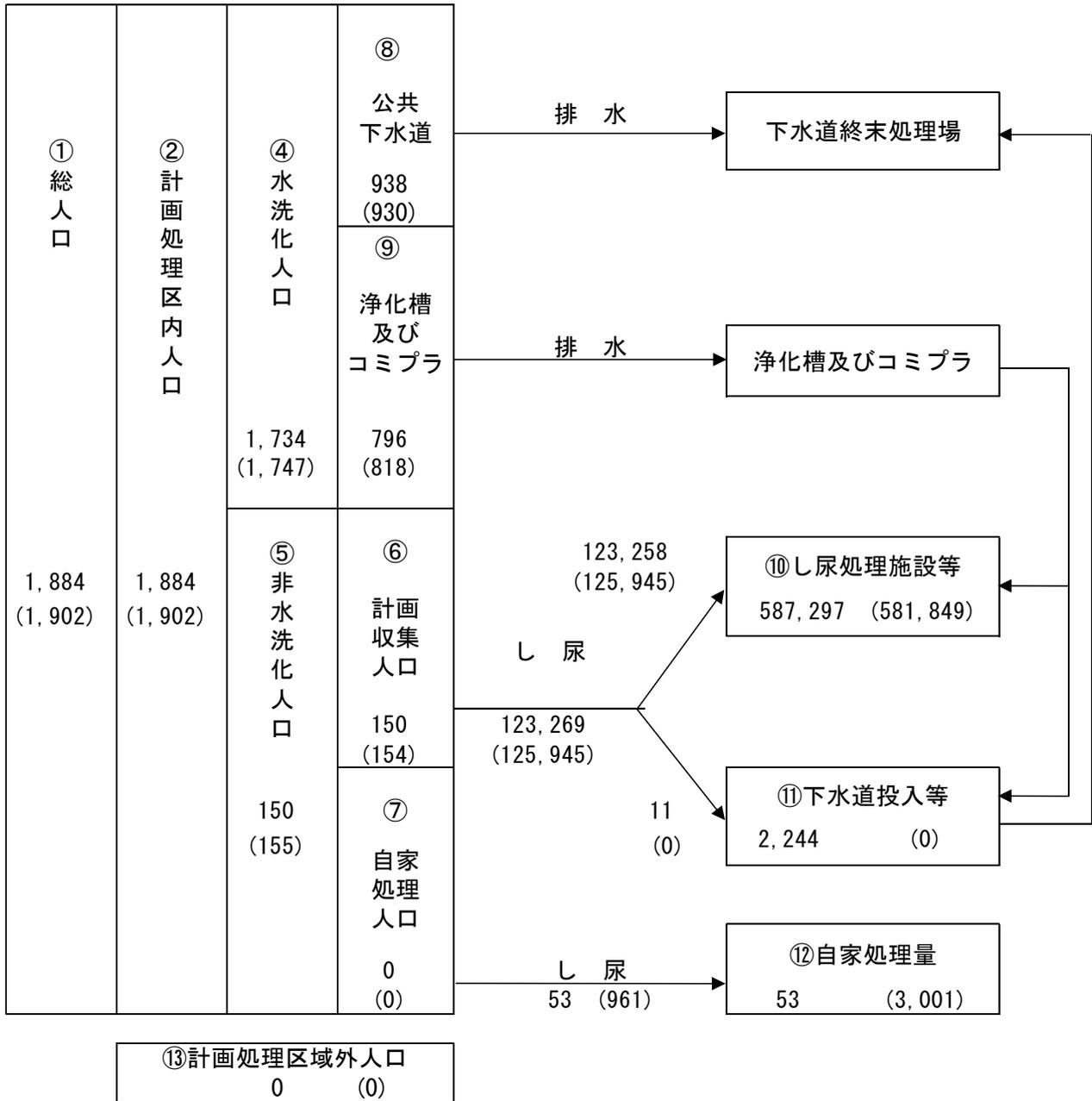


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の年間処理量

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：kℓ／年）



(注) ⑦自家処理人口は53人 (55人)
() 内は令和元年度の実績

図-8 し尿処理のフロー図

表-13 し尿処理の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
a 総人口(人)①	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061
b 計画処理区域内人口(人)②	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061
c 水洗化率(%)	88.7	89.8	89.8	90.4	90.8	91.9	92.1
d 水洗化人口(人)④	1,730,999	1,766,202	1,759,867	1,752,393	1,744,180	1,747,330	1,734,320
e 公共下水道人口(人)⑧	897,444	913,603	928,080	912,376	919,433	929,774	938,148
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,817	2,877	2,950	3,946	3,981	3,977	4,144
g 浄化槽人口(人)⑨	830,738	849,722	828,837	836,071	820,766	813,579	792,028
h 合併処理浄化槽人口(人)	492,743	497,423	503,028	524,517	484,502	478,594	485,499
i 非水洗化率(%)	11.3	10.2	10.2	9.6	9.2	8.1	7.9
j 非水洗化人口(人)⑤	220,180	200,019	198,983	185,434	176,536	154,523	149,741
k 計画収集人口(人)⑥	219,925	199,720	198,903	185,355	176,457	154,468	149,688
l 自家処理人口(人)⑦	255	299	80	79	79	55	53
m 計画処理区域内のし尿等排出量(kl/年)	598,961	607,971	605,090	601,814	596,494	584,850	589,541
n し尿等処理量(kl/年)	598,961	607,971	605,090	601,814	596,494	584,850	589,594
o 計画処理量(t/年)	598,947	606,998	604,494	601,336	596,084	581,849	123,269
p し尿処理量(kl/年)	160,245	156,706	148,989	139,807	129,507	125,945	123,269
q し尿処理施設(kl/年)	156,725	153,406	148,983	139,796	129,496	125,934	123,258
r ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	0	11	11	11	0
s 下水道投入(kl/年)	3,520	3,300	6	0	0	0	11
t 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
u その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
v 浄化槽汚泥処理量(kl/年)	438,702	450,292	455,505	461,529	466,577	455,904	466,272
w し尿処理施設(kl/年)	397,904	402,336	455,448	461,469	466,517	455,844	464,039
x ごみ堆肥化施設(kl/年)	81	60	57	60	60	60	0
y 下水道投入(kl/年)	40,717	47,896	0	0	0	0	2,233
z 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
aa その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
ab 自家処理量(kl/年)	14	973	596	478	410	3,001	53
ac し尿(kl/年)	14	365	175	195	163	961	53
ad 浄化槽汚泥(kl/年)	0	608	421	283	247	2,040	0

(注) c=(d/b)×100

i=(j/b)×100

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)

水洗化率 ④/①= 92.1%(91.9%)

非水洗化率 ⑤/①= 7.9%(8.1%)

計画収集率 ⑥/①= 7.9%(8.1%)

自家処理率 ⑦/①= 0.0%(0.0%)

()の数值は令和元年度実績

公共下水道水洗化率 ⑧/①= 49.8%(48.9%)

浄化槽及びコミプラ水洗化率 ⑨/①= 42.3%(43.0%)

(対非水洗化人口)

計画収集率 ⑥/⑤= 100.0%(100.0%)

自家処理率 ⑦/⑤= 0.0%(0.0%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-14 のとおり平成 24 年度以降は増加傾向にありましたが、平成 27 年度を境に減少に転じており、令和 2 年度は前年度の新規設置基数を 167 基下回る、3,363 基（対前年度比 95.3%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9 のとおり、単独浄化槽から合併浄化槽への転換が進んでいることから、単独浄化槽の割合は毎年減少しています。令和 2 年度の浄化槽設置基数は 281,793 基で、そのうち単独処理浄化槽が 153,902 基と約 55%を占めています。

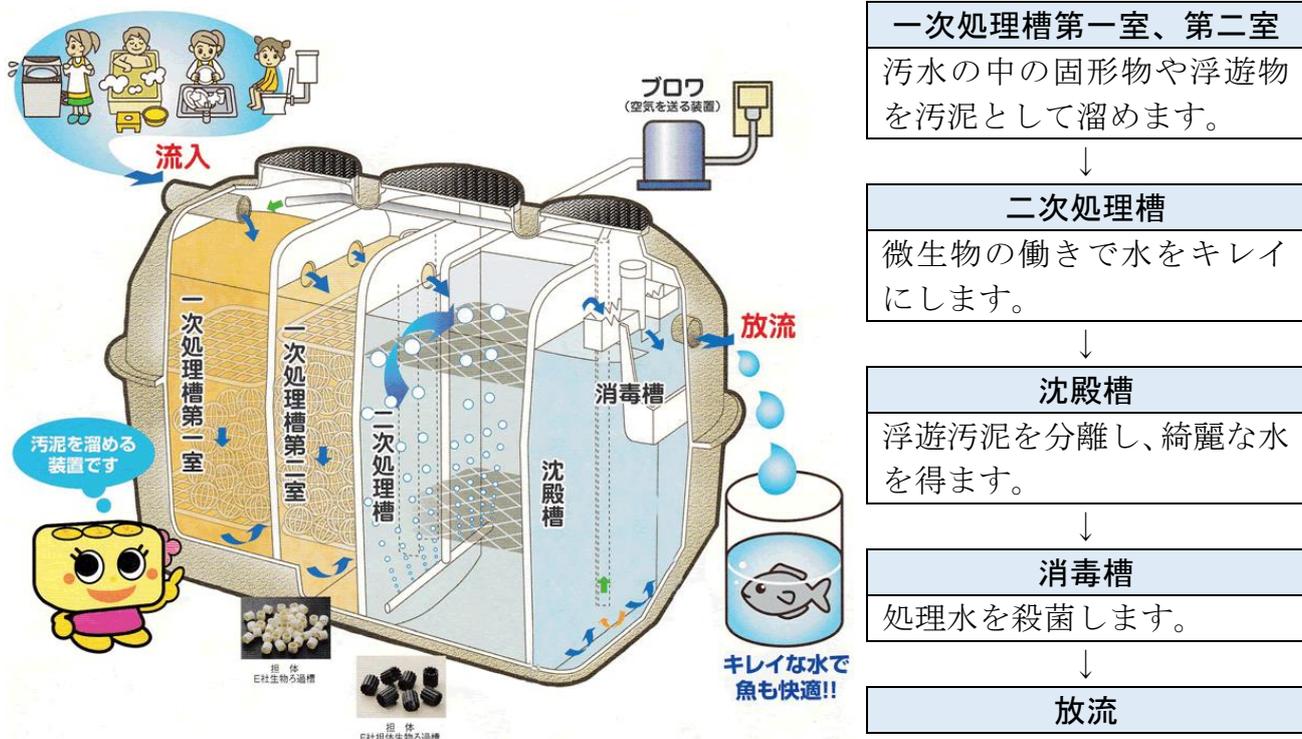
表-14 年度別新規設置基数

年度	26	27	28	29	30	R元	R2
基数	4,535	5,217	4,854	4,380	4,028	3,530	3,363

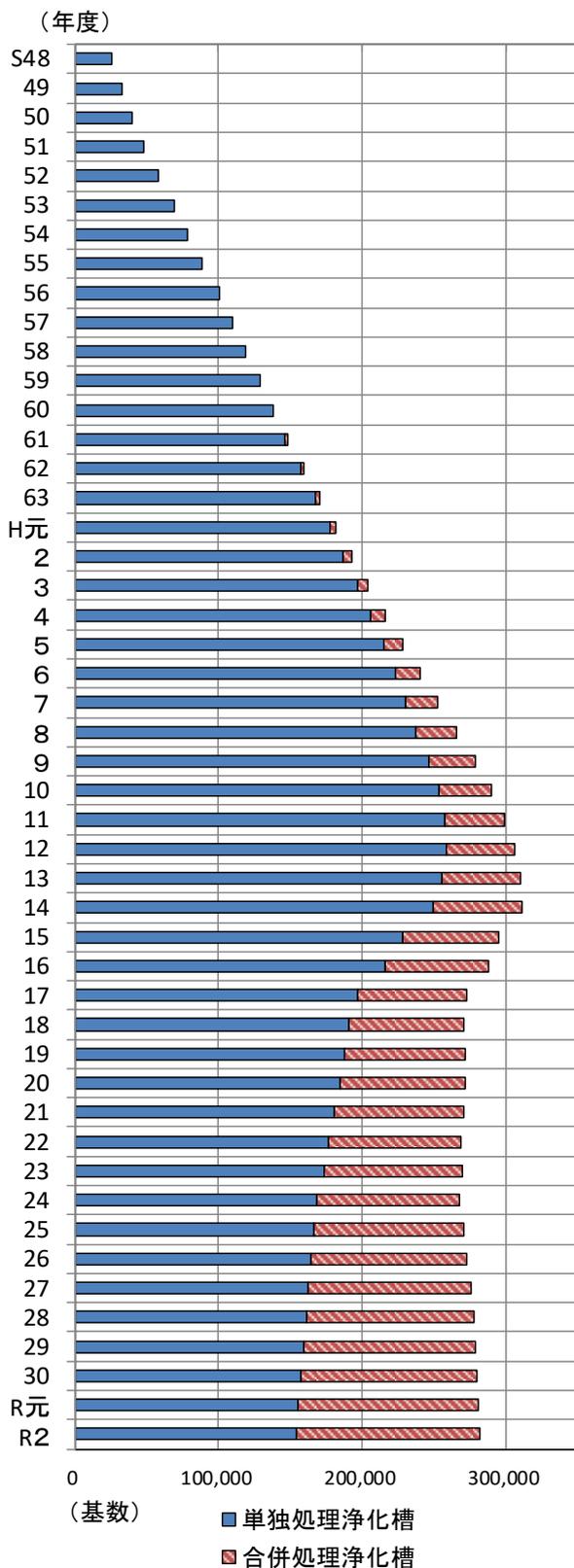
表-15 令和2年度末人槽別設置基数

人槽規模	5～20	21～100	101～200	201～500	501～	合計
基数	262,111	17,075	1,398	949	260	281,793

〈参考〉浄化槽のしくみ



出典：公益社団法人福島県浄化槽協会 HP <https://www.f-jkjk.com/jokaso/sikumi.php>



年度	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽	合計
S48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
H元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107
25	166,749	104,382	271,131
26	164,583	108,247	272,830
27	162,778	112,762	275,540
28	161,124	116,536	277,660
29	159,277	120,048	279,325
30	157,198	122,929	280,127
R元	155,761	125,648	281,409
R2	153,902	127,891	281,793

図－9 浄化槽設置基数の推移